

JIS

紙及び板紙—
こわさ試験方法—
テーパーこわさ試験機法

JIS P 8125 : 2000
(JAPAN TAPPI/JSA)

平成12年12月20日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、紙パルプ技術協会(JAPAN TAPPI)/財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申し出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、JIS P 8125 : 1994は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、日本工業規格を国際規格に整合させるため、ISO 2493 : 1992, Paper and board—Determination of resistance to bendingを基礎として用いた。

JIS P 8125には、次に示す附属書がある。

附属書1(参考) JISと対応する国際規格との対比表

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 32.9.18 改正：平成 12.12.20

官 報 公 示：平成 12.12.20

原 案 作 成 者：紙パルプ技術協会（〒104-1839 東京都中央区銀座3丁目9-11 TEL 03-3248-4841）

財団法人 日本規格協会（〒107-8440 東京都港区赤坂4丁目1-24 TEL 03-5770-1573）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 消費生活部会（部会長 小見山 二郎）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は工業技術院標準部標準業務課 環境生活標準化推進室 [〒100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1 TEL 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

紙及び板紙—こわさ試験方法— P 8125 : 2000
テーパーこわさ試験機法

Paper and board—Determination of stiffness—Taber stiffness tester method

序文 この規格は、1992年に第2版として発行されたISO 2493, Paper and board—Determination of resistance to bendingを翻訳し、この規格で規定する規定内容のうち対応国際規格と対応する部分(テーパーこわさ試験機に関する部分)については、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、テーパーこわさ試験機を用いた紙及び板紙のこわさ試験方法について規定する。

備考1. この規格は、比較的厚い紙及び板紙に適用できる。

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21に基づき、MOD(修正している)とする。

ISO 2493 : 1992, Paper and board—Determination of resistance to bending(MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS P 0001 紙・板紙及びパルプ用語

備考 ISO 4046 : 1978, Paper, board, pulp and related term—Vocabularyからの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS P 8110 試験用紙採取方法

備考 ISO 186 : 1994, Paper and board—Sampling to determine average qualityからの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS P 8111 紙、板紙及びパルプ—調湿及び試験のための標準状態

備考 ISO 187 : 1990, Paper, board and pulps—Standard atmosphere for conditioning and testing and procedure for monitoring the atmosphere and conditioning of samplesからの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 9041-1 データの統計的な解釈方法—第1部：データの統計的記述

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、JIS P 0001によるほか、次による。

a) こわさ(テーパー) 幅38.0 mmの試験片の一端をつかみ片持ちばり(梁)を構成させ、一定速度で15°曲げ、50 mmの荷重長になったときの試験片を曲げるのに要する曲げモーメント。

なお、1枚の試験片について、左右両方向に曲げて測定し、その平均値をもって一つの値とする。

b) 曲げ角度(bending angle) 試験片のつかみ具の中心線と、試験片のつかみ具の下端中心点と荷重点とを結んだ線とのなす角度。

c) 曲げ長さ(bending length) 曲げ角度15°のとき、その荷重点とつかみ具の下端中心点の間の距離。テーパーこわ